

火薬類消費計画書

工事等の名称						
発注者						
工期		年 月 日 から 年 月 日まで				
消費期間		年 月 日 から 年 月 日まで・無期限				
消費 の 方 法	火薬類の消費見込数量 (1か月最大)					
危 害 予 防 の 方 法	発破の方法	1孔当り装薬量 (最大)	kg	電気		
		1回の発破孔数 (最大)	個	点火の方法		
		1日の発破回数 (最大)	回	導火線		
		1日の消費数量 (最大)	kg	込物		
		1か月の発破日数 (最大)	回	発破予定時刻		
危 害 予 防 の 方 法	危険区域の表示	別図の位置に立入禁止、発破時刻、注意事項を表示する。				
	警戒員	警戒員 名を別図の位置に配置する。				
	警報場所	サイレン 振鈴 呼笛によって警報する。				
	退避場所	構造 位置は別図のとおり				
	交通制限要・否	通行車両 遮断時間	定期バス 発破前	不定期自動車 分～発破後	軽車両 分	歩行者
	住民への周知					
火 薬 類 取 扱 所	防 護 措 置 要 ・ 否	ブラステングマット	ブラステングシート	防爆マット	たたみ	
		ブラストフェンス	飛石防止柵	むしろ	かます	こも俵
		その他 () を使用する。				
火 工 所	位 置 構 造 設 備 管 理	位置	安全で湿気の少ない場所に設ける。 火工所までの距離 m			
		構造	見張人を配置しない構造 () 造り 見張人を配置する構造 () 造り			
		設備	境界柵 警戒札 照明設備 (配線) を設ける。			
		管理	帳簿を備え責任者を定めて、火薬類の受払い状況をその都度記録する。			
火 工 所	位 置 構 造 設 備 管 理	位置	安全で湿気の少ない場所に設ける。 切羽までの距離 m			
		構造	() 造りとし、作業台を設ける。			
		設備	周囲柵 警戒札 照明設備 (配線) を設ける。			
		管理	帳簿を備え責任者を定めて、火薬類の受払い状況をその都度記録する。			

